

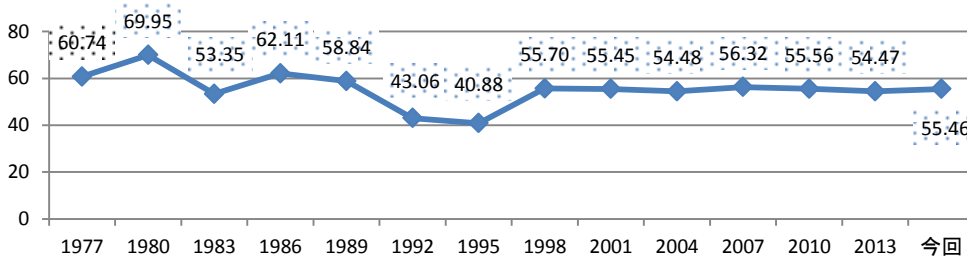
# データから見る参議院選挙・有権者の投票行動



衆議院と違って、3年に1度の定期的な参議院選挙が実施されます。政権運営が上手くいっている時は、与党にとって有利な方に票が動きますし、またその逆もあり得ます。したがって、一回の参議院選挙でダメージを受けてしまった場合には、それを取り戻すには最低でも6年、すなわち2度の選挙を経なければなりません。

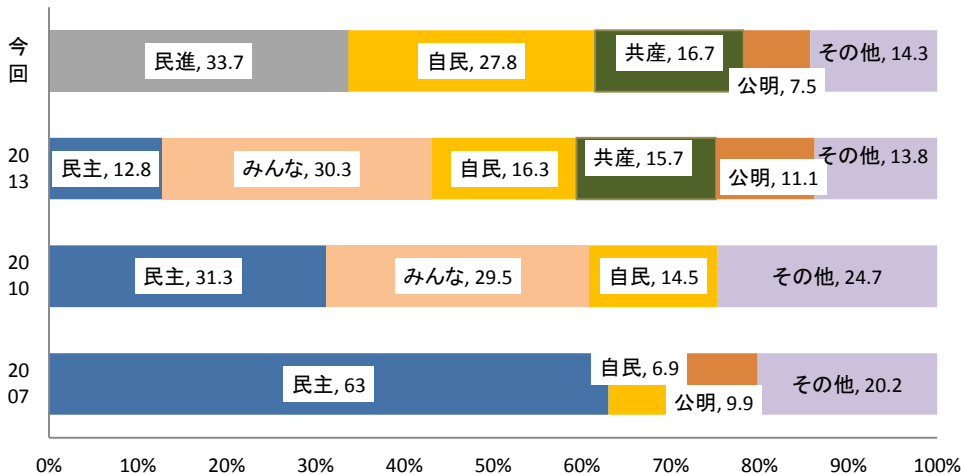
自民党が既に1989年の参議院選以降、単独過半数を割ってなかなかそれを超えられないのも、実はその影響が大だからです。連立政権になるゆえんは、まさに参議院での過半数をどの政党と組むかによって与党になるか否かが決定します。自民党は公明党と、そしてかつての民主党は国民新党と組んで内閣を構成したのでした。

## ① 県内の参院選投票率の推移 (%)

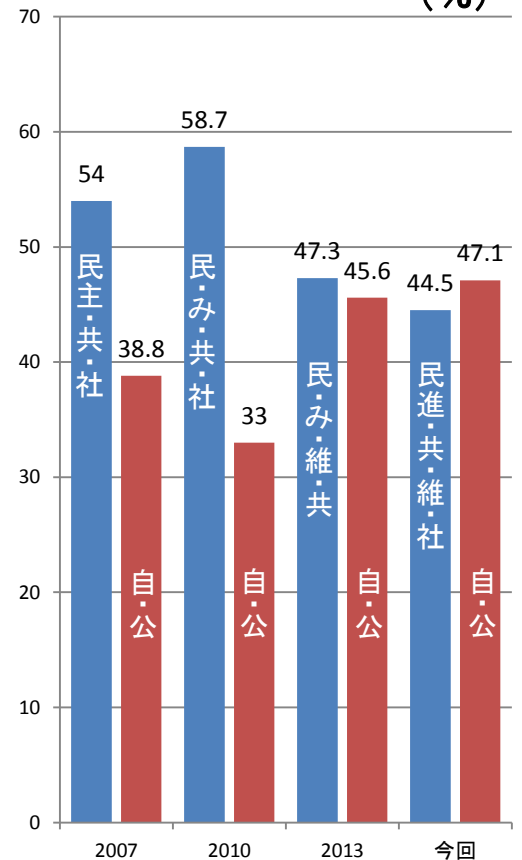


## ② 県内無党派層による候補者への投票 (%)

※同一政党の場合は合算した数値



## ③ 県内主要政党の得票比較 (%)



参院選の結果「改憲勢力」が参院でも3分の2を超えた。数の上では衆参とも改正の国会発議ができるようになった。

ただ、「改憲勢力」の中には環境権などの付加、道州制を含む統治機構改革には賛成だが9条改正には反対という議員もいて足並みは揃ってはいないという。どのようにに発議されるのか争点を定めて選択しなければ、と思う。

東日本大震災、原発事故から5年。今なお対策、処理が難航しているにもかかわらず各地で再稼働が進んでいるという。

原発の安全性、複合災害などへの対策はどうなっているのか。安心、安全に対する疑問は払拭されたとは言えないという。エネルギー政策の選択をないがしろにしてはいけないと思う。

自民一強にあつて解散、総選挙がなければ18年末まで衆院選はない。水戸議員にあつては争点を明らかにして民意を導いてほしいと思う。

「分岐点」

今月の  
水戸まさし応援団

水戸応援団  
Mチーム 益田正廣

- ◆HP 「水戸将史」で検索
- ◆メール kickoff310@yahoo.co.jp
- ◆Face book 「水戸将史」で検索
- ◆Twitter @mito\_kickoff
- ◆メルマガ 登録はHPから

- ◆国会事務所  
〒100-8982  
東京都千代田区永田町2-1-2  
衆議院第二議員会館601号室  
TEL:03-3508-7027 FAX:03-3508-3827

- ◆地元事務所  
〒245-0008  
横浜市泉区弥生台26-6  
TEL:045-814-3001  
FAX:045-814-3007